

主題

つながる思い、広がる笑顔 ～「合い」の活動」に重きを置いて～

1 ねらい

本校では、「つながり」と「笑顔」をキーワードにして、学校・地域・保護者の3者がつながることや、それぞれが子どもたちとつながること、そして、子ども同士のつながりを大切にしてきた。そこで、教育活動全般にわたって、「話し合い」や「認め合い」、「教え合い」などの「合い」の活動を繰り返し継続的に取り組むことによって、「人権意識の高揚」を図り、子どもたちが安心して過ごすことができるように努めてきた。その結果、「学校は安心して過ごせる」や、「学校の先生は悩みごとや心配事を相談しやすい」と感じる子どもたちは増えてつつある。また、「授業は参加しやすくなった」と感じる子どもたちも増えている。その一方で、様々なことに不安を感じ、悩みを抱えたり、うまく対処できなくて、自分に自信がもてない子どもたちも多くいる。

そこで、本年度は、昨年度に引き続き、「つながる思い、広がる笑顔」をテーマとして、「伝え合い」、「認め合い」、「支え合い」、「教え合い」など（以下「合い」の活動」とする）に重点を置いた取り組みを行っていく。

「合い」の活動は、3つの段階を設定する。一つ目の段階は、「思いを伝える」ことである。コミュニケーションの中でまず、大切にしたいことは、気持ちや考えを単に「言う」だけでなく、「相手にどう伝え、どう伝わるか」ということである。そこで、「傾聴と対話」の姿勢を基にした「伝え合い」活動に取り組んでいく。二つ目の段階は、「分かってほしい、理解してほしい」ということである。「伝わった思い」に対して、同感・共感できる部分があったり、自分との「違い」に気付いたりすることができる。ここで大切なのは、「違い」を受け入れ、理解しようとする態度を養うことである。そこで、「分かり合い・認め合い」活動に取り組んでいく。そして、三つ目の段階は、「誰もが大切にされる」ということである。「理解し、共存していこうとする態度」をどのように発揮することが望ましいかについて体験的に身に付くように、「支え合い・助け合い・教え合い」の活動に取り組んでいく。

互いの思いがつながり、理解し、理解され、認め、認められることで笑顔が広がる…。このような取り組みを行うことは、「自分自身を大切にするとともに、他の人を大切にすること」という人権意識が高まり、その結果、子どもたちが安心して過ごせ、学習においても意欲や学力の向上につながっていくと考える。以上のような取り組みを通して、すべての子どもたちが「光り輝くダイヤモンド」となるようにしていきたい。

「合い」の活動」3つの段階

「伝える」 (話し合い・伝え合い…)



「理解する」 (分かり合い・認め合い…)



「共存する」 (支え合い・教え合い…)

2 令和2年度努力点推進の具体的な取り組み

(1) 基盤となるつながり

① 教職員と子ども

教職員が子どもたちの心の変化を感じるため、毎日行う「つぶやきノート」、月に1回行う記名式の「心のアンケート」を基に随時相談活動を行う。更に、年に3回の教育相談週間を年間行事に位置づけて相談活動を行っていく。

また、子どもたちと「相談しやすい関係作り」ができるよう、子どもたち一人一人を大切に声掛けや生徒指導における「傾聴と対話」を行っていく。

② 保護者・地域と子ども

地域と連携した行事を継続し、たくさんの方が子どもたちとつながること、子どもたちが「守られてる」という安心感を感じられるようにしていく。

(2) 教育活動におけるつながり

① 教科指導

授業の中で「合い」の活動を通じて、仲間との対話を中心とした子ども同士のつながりをもたせ、子どもたちが主体的に「学び合える」ようにする。

② 特活

「合い」の活動を通じて一人一人を大切に、大切にされることによって、人権感覚を養う取り組みを行っていく。

③ 生徒指導

「合い」の活動を通じて、人と関わっていくときに生じる気持ちの変化に目を向けさせ、どのように対処していくとよいのかを「傾聴と対話」によって生徒に感じさせていく。

④ 学級・学年経営

「合い」の活動を通じて、「自分を必要とされる感覚」を感じさせる学級・学年が創られていくようにする。

つながる思い、広がる笑顔

～「“合い”の活動」に重きを置いて～

自分自身を大切にするとともに、他の人を大切にする子ども

教科

- 話し合いの活動
- 認め合いの活動
- 教え合いの活動
- 主体的な学び合い
- ☆「参加して楽しく、
できるようになる」授業
- ☆授業の相互参観
- ☆朝学習・質問会・学習会

特別の教科 道徳

- 話し合い・伝え合いの活動
- 分かり合い・認め合いの活動
- 支え合い・助け合いの活動
- ☆「命の尊さ」☆「生きる素晴らしさ」
- ☆「いじめ防止」など

特活

- 話し合い・伝え合いの活動
- 分かり合い・認め合いの活動
- 支え合い・助け合いの活動
- ☆学校行事・生徒委員会・実行委員会・有志活動等の充実

○気持ちや考えを伝え合う。
○違いを受け止め、分かり合う・認め合う。
☆傾聴と対話
☆将来を見据えた段階的指導

生徒指導

○係、清掃、有志活動における活躍
○支え合い・助け合い活動
○認め合い活動
☆一人一役を与え、「自分を必要される」感覚を味わわせる

学級・学年

基盤となるつながり

- ☆保護者会
- ☆学校開放
- ☆ホームページ
- ☆学年便り

- 教育相談
- つぶやきノート
- 心のアンケート
- ☆相談しやすい関係

- 生徒会行事
- 学区ボランティア
- 保護司講演会

保護者

教職員

地域

○思いやり清掃

○…生徒の活動

☆…教職員の取り組み